

庁舎	つくば地区（旭）
受入担当研究室	道路構造物研究部 橋梁研究室
キーワード	橋梁、設計、既設橋の機能向上
受入研究課題	上部構造の塑性化、複合構造の活用を考慮した構造合理化、リニューアルの合理化に関する研究
課題内容	限界状態設計法を活用し、上部構造に塑性化させる部材も組み合わせた新設橋の構造合理化や既設橋のリニューアルの合理化を実現するための研究
関連リンク	・ 特殊なウェブ形式を有するPC橋の損傷に対する調査・措置事例と教訓 (https://www.pwrc.or.jp/shouroku/shouroku_2024.html#h240907) ・ 塑性化を考慮した鋼桁設計法の開発 (https://www.pwrc.or.jp/thesis_shouroku/thesis_pdf/2010-P040-043rep_miyashita.pdf) ・ 鋼橋の補強の合理化のための載荷実験 (https://www.pwrc.or.jp/thesis_shouroku/thesis_pdf/2105-P020-025_kasugai.pdf)
求められる 関連業務実績	・ 道路橋の設計、施工に関する業務
研修成果目標	・ 道路橋の設計基準、補修補強基準に関する総合的な専門知識や技術を取得する。 ・ 上部構造に複合構造を用いたり塑性化させる部材を組み合わせることによる橋の構造の変化や建設コスト、補強・リニューアルコストに及ぼす影響の試算を行い、関連学会等で発表したり国総研資料にまとめる。
指導内容	・ 部分係数法、限界状態設計法による道路橋の設計に関する指導 ・ 論文や国総研資料等のとりまとめ指導
受入研究課題に関連 するその他の研究室 等の有無	無